

琵琶湖学特論

～琵琶湖を自然と、人との関わりから考える～

授業の目的と概要

琵琶湖の自然、人々の営みなどについて、専門的な立場から講義するとともに、個々に抱えている問題点を議論する。このような講義や議論をふまえて、琵琶湖に関する環境問題や人とのかかわり方の実態や変化を理解し、その将来像を探るとともに、広く水環境についての洞察力を深めてゆく。

担当教員	教育学部 石川 俊之 教授
開講曜限	火曜日 3限 (12:50～14:20)
開講日	10月7、14、21、28
	11月4、11、18、25
	12月2、9、16、23
	1月6、13、20
会場	大津キャンパス 他
受講形態	対面授業 ※うち2回分を集中講義（琵琶湖博物館見学）として実施予定、日程は受講生と相談して決定
教科書情報 (補足)	参考書：『琵琶湖：その環境と水質形成』／宗宮功著,技報堂出版,2000。『琵琶湖はいつできた：地層が伝える過去の環境』／里口保文著,サンライズ出版。 『琵琶湖岸からのメッセージ：保全・再生のための視点』／サンライズ出版,2017。『琵琶湖と環境：未来につなぐ自然と人との共生』／琵琶湖と環境編集委員会編,サンライズ出版,2015。『おいしい琵琶湖八珍：文化としての湖魚食』／滋賀県ミュージアム活性化推進委員会編,サンライズ出版。『わたし琵琶湖の漁師です』／戸田直弘著,光文社。『びわ湖を語る50章：知ってますかこの湖を』／琵琶湖百科編集委員会編,サンライズ出版,2001。 講義内の資料の多くを行政刊行物から引用しているため、県庁が発行している定期刊行物の所在を各自で確認する。